

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

学校番号

30

福岡県立 宗像 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>中高一貫教育により、たくましく自ら励み、未来を拓く人材を育成する学校 中高一貫した教育課程や学習環境のもとで、多様な研修や産学官連携による個に応じた教育活動を通じて、主体性や協調性、粘り強くチャレンジする力を育成し、地域や国際社会をリードしていく人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問いを立て、自分なりに答えを創る力の育成 ・多様な他者と協働し、世界とつながる力の育成 ・志を持ち、自らの人生を切り拓く力の育成 ・文武両道を通して人間力を磨く力の育成
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ？」を深めるハイレベルな授業 ・リアルな社会と向き合う探究プロジェクト ・自らデザインし、価値を創る学び ・英語で世界とつながる学び
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」を大切に、自分なりの答えを形にしようとする人 ・失敗してもあきらめず、挑戦を続ける人 ・仲間と力を合わせ、よりよい未来をつくろうとする人 ・基礎を大切に、自分の夢に向かって学び続ける人

学校運営計画(4月)

<p>学校運営方針</p>	<p>1 「自律した学修者」として高い志を持ち、自らの進路実現に向けて粘り強く挑戦し続けるGRIT(やり抜く力)を育成する。 2 幅広い教養と深い専門性を基盤に、正解のない問いに対して自ら考え、社会に新たな価値を創造できる生徒を育む。 3 多様な価値観を尊重し、世界の人々と協働しながら持続可能な社会の創り手となるグローバルリーダーシップを育む。</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>【成果】新分掌「ALPS(未来価値創造室)」を立ち上げ、新たな推進体制を確立した。また、教育現場への生成AI活用を確実に推進し、生徒の個別最適な学びの実践をしたことが大きな前進である。 【課題】 中高一貫の強みを最大化するため、6年間を見通したカリキュラム、特に総合的な探究の時間の再設計が急務である。個人の自己評価からは、学力向上に向けた個別最適な指導と、探究活動の評価の在り方に更なる工夫が必要である。「ALPS」の具体的な教育成果を今後継承する運用ルールの精緻化が課題である。生徒のAI活用においても、教員間の活用スキル格差を見極め、全校で効果的な活用モデルを確立する必要がある。</p>	<p>「自律」した学修者の確立と 進路実現に向けた 「GRIT(やり抜く力)」の深化</p>	<p>学習記録帳『夢に向かって』を活用し、自らの学習状況を分析して計画を立て、主体的に学ぶ自己調整学習の能力を高めさせる。 進路実現や部活動等において高い目標を掲げ、自己分析等を通じて課題の解決策を見つけ、粘り強く取り組む姿勢を確立させる。 生成AI等のICTを文房具として活用し、各教科の本質に迫る授業で知的好奇心を深め、自ら問いを立てて学問的に深く追究する姿勢を養う。</p>	
	<p>学問と社会を結びつける 高度な「探究」と新たな価値の創造</p>	<p>大学や企業等と連携し、専門的な知見を用いて地域や社会の課題解決に向けた実証的な研究活動に取り組む。 グローバルな視点で社会の課題を捉え直し、既存概念にとらわれない柔軟な発想で、持続可能な未来のための解決策を構想する。 探究の成果を論文にまとめたり、ポスターセッション等で論理的に発表したりする高度な表現力・発信力を身につける。</p>	
	<p>多様性と協働を基盤とした グローバルリーダーシップの育成</p>	<p>様々な人々との交流を通じ、異なる文化背景を持つ人々と関わり、多文化共生の意識を深める。 授業での議論や生徒会活動等において、多様な意見を尊重し、建設的な対話で合意形成を図る言語化能力を磨く。 学校行事の運営やボランティア活動等に主体的に参画し、フォロワーシップとリーダーシップを発揮しながら協働して目標を達成する。</p>	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)および項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等	評価(3月)		
教育計画課	本年度の重点目標を表現するため教育計画について研究する。	学習指導をととした生徒の人格の形成に全教科で取り組む。	・自学時間調査で各学年の目標値に対しての達成度を80%とする。 ・自主的に課外活動に参加した生徒の割合を20%以上とする。				
		生徒が学校行事等に主体的に参加しやすい教育計画を作成する。					
		地域貢献活動や様々な研修等に参加し、誇りや愛着をもちやすい環境を整備する。					
	幅広い教養の獲得を促す学習指導の充実を図る。	3年間を見とおし、学年や教科を超えて協力してやり抜く力の育成を図る。	・GPSアカデミックを活用し、非認知能力の変容をとらえる。 ・生成AIの活用により、個人的な学びが深まったと感じる生徒を80%以上とする。				
生成AIなどを活用し、多様化する生徒全員が達成感や充実感を感じられるようにする。							
一人一台端末や個人端末を活用し、進路実現をしやすい学びの環境を整える。							
企画広報課	教育目標達成に向けた中・高の緊密な連携とPTA活動の主体的・積極的な運営を確立する。	儀式、式典等の行事等を効果的、効率的に実施するために中・高でより一層の連携を図る。	PTA役員対象アンケート (PTA活動の取組や内容等)				
		各学年、分掌、中・高が連携し、効果的・効率的な取組のもとPTA活動の促進につなげる。					
		PTA活動の主体性を促進させ、学校運営の活性化につなげる。					
	様々な方法で情報発信を行い、効果的な広報活動を展開する。地域や大学と連携を図り、地域貢献活動を積極的に行う。	HPやSNSでの情報発信を毎週行うことで、Instagramのフォロワー数4,000人(33%up)を達成する。	・中学生・保護者への満足度アンケート ・ボランティア参加者への満足度アンケート				
宗中・宗高を体感できる企画(宗高体験Dayなど)を増設し、本校の志願者増に繋げる。							
宗像市、高校・大学と連携を図ることで、ボランティアなどの様々な活動に生徒が参加できる機会を創出する。							
生徒支援課	生徒の学校行事や部活動への主体的・積極的な参加を奨励し、生徒一人一人の学校満足度の高揚を図る。	生徒が自らの目標を掲げる中で、その達成に向けて粘り強く取り組むことができる環境を支援する。	・学校生活アンケートを活用し、生徒の変容を読み取る。				
		様々な自己決定の場を提供することで、主体的な学校生活を送り、帰属意識を高めることができるよう導く。					
		生徒一人一人に寄り添い、生徒理解に努めることで、生徒が自己肯定感や自己有用感を高めることができるよう支援する。					
	社会的資質・能力の発達を支えるとともに、自律の精神、感謝と思いやりの心をもった生徒の育成を目指す。	家庭と連携し、時間管理やSNSの利用、交通ルール・マナーの遵守など、生徒の適切な自己指導能力を育む。	・学校生活における安心・安全に関するアンケートを実施				
周囲の環境への感謝の気持ちや思いやりある態度、配慮ある行動を取るなどの共感的な人間関係を育成する。							
生徒一人一人が自ら進んで挨拶をし、互いにコミュニケーションを図り、明るく健康的に学校生活を送れるように支援する。							
保健環境課	生徒の健康に対する意識向上を図り、心身ともに健康で安心した学校生活を送ることができるよう、生活環境を整える。	生徒情報の共有徹底を図り、要配慮生徒の情報共有率100%、かつ新規配慮事案は即時共有する。	・学校生活アンケートを活用し、生徒の変容を読み取る。 ・学校生活における安心・安全に関するアンケートを実施				
		スクールカウンセリングの相談活動を有効的に活用・促進して、生徒のニーズに合わせて、継続的な支援体制を柔軟に整える。					
		保健指導や啓発活動を充実させ、健康を管理する意識を高めるとともに、生活習慣の改善に主体的に取り組む態度を育成する。					
	感謝と思いやりをもって、主体的に清掃や美化活動に努める生徒を育み、保健衛生環境を整える。	日常の清掃活動の質を高め、「時間いっぱい丁寧に」を清掃に取り組む基本姿勢とし、校内美化意識の向上を図る。	・清掃意識アンケートを実施し、生徒の美化意識の変容を読み取る。				
美化委員会、環境委員会の活動を活発化し、生徒主体の企画を年に2件以上実施し、主体的に環境保全に取り組む姿勢を育む。							
保健委員会による発信を月に1回以上実施し、健康に関する意識および衛生意識を定着させる。							

進路支援課	自らの資質・能力と社会との接点を踏まえて進路目標を設定し、主体的に学び、最後までやり抜く生徒を育成する。	「夢に向かって」を活用した自己分析と計画的実践を通して、自己調整学習の力を高める。	・実力査定受験率90% ・進路目標に向けた学習取組満足度が「高い・やや高い」と回答する生徒60%以上	
		スタディサプリの講座一覧や活用例を提示し、自己の課題に応じた活用ができるようにする。		
		模試結果等を進路選択や的を絞った学力補充に生かせるように各学年で分析し、全体で共有する。		
	3年間を見通した組織的・計画的な指導体制を構築し、個に応じた進路支援を充実させる。	難関大学の推薦・総合型選抜の受験を検討する生徒が増えるためにも、年内入試に向けた指導の在り方を再構築する。	・生成AIやスタディサプリ等を自らの課題解決に向け「適切に活用できている」と回答する生徒60%以上	
		生成AIやスタディサプリ等、オンラインツールを用いた効果的な活用を支援する。		
		自分自身の考えを言語化できるように、1・2年次の小論文指導の枠組みを再編成する。		
図書研修課	生徒の主体的な学びや協働的な活動を支援する「学習情報・読書センター」としての機能を充実・向上させる。	学年・選書委員会・進路指導課・ALPSと連携する。	読書会生徒アンケート 図書貸出数 蔵書数	
		蔵書の充実を図るとともに、図書館にある書籍・情報を紹介・案内し、探究的な学びを支援する。		
		授業や図書館行事をとおして、主体的な読書活動を奨励する。		
	授業力向上を図るため、校内研修の充実とICT・AIの活用を通して授業改善を推進する。	他分掌と連携し、校内研修を充実させ、授業実践や教育課題に関する情報共有と指導力向上を図る。	教職員アンケート 授業アンケート(生徒) 授業実践の共有数	
		AIや1人1台端末等のICTを活用した授業実践について情報共有などを行い、授業改善につなげる。		
		授業アンケートや研究授業を通して授業を振り返り、教科や分掌を越えた協議を通して授業の質の向上を図る。		
ALPS	生徒の興味・関心を各教科・社会と結びつけ、社会課題に対して新たな価値を創造することができる生徒を育成する。	15以上の外部機関・団体数と連携体制を整える。	連携機関・団体数 総評自己評価ループリック(生徒)	
		興味・関心が社会と結びついている生徒の割合を80%以上にする。		
		探究活動での取り組み・成果を社会に発信した生徒の割合を30%以上にする。		
	学年・分掌との連携を行い、生成AIを活用して主体的に学びを深めることができる生徒を育成するための環境を整備する。	生成AIの特性を正しく理解している生徒の割合を90%以上にする。	授業アンケート(生徒) ALPS通信(仮)の発行部数	
	学習等で生成AIを利用している生徒の割合を60%以上にする。			
	教員・生徒への生成AIの活用方法・事例を定期的に提供する。			

第1学年	「夢に向かって」等を活用した自己調整学習を確立し、主体的に学び続ける基礎力を育成する。	「夢に向かって」を活用した生活習慣と学習計画と振り返りの定着(週ごとに学習目標を設定している生徒の割合80%以上)。 家庭学習時間の確保と学習習慣の確立(家庭学習を毎日行っている生徒の割合80%以上)。 生成AI等のICTを活用した主体的な学習の推進(生成AI等のICTを使って課題解決に取り組んだ経験のある生徒の割合80%以上)。	学校生活アンケート 授業アンケート 振り返りアンケート	
	学校生活に主体的に参加し、協働しながら目標に向かって取り組む姿勢を育成する。	学校行事・部活動への主体的参加の促進(学校行事や学習・部活動等の教育活動に積極的に参加したと答える生徒の割合85%以上)。 対話を通じた協働的な学級づくりの推進(クラスのみならず協力しあっていると思うと答える生徒の割合85%以上)。 社会活動・社会体験等への参加の推進(学校外活動に主体的に参加した経験がある生徒の割合60%以上)。	学校生活アンケート 授業アンケート 振り返りアンケート	
第2学年	中堅学年として、先輩を支え、後輩の模範となる品格とリーダーシップを醸成する。	規律ある生活と品格の向上を目指す(時守・挨拶などの基本的な生活習慣を意識している生徒 90%以上)。 リーダーシップと共感力を育成する(行事や部活動で集団の目標達成に貢献できたと回答する生徒 85%以上) 自己有用感と主体的な参画者としての自覚を醸成する(学校行事や地域貢献活動への満足度および参画実感85%以上)	学校生活アンケート 授業アンケート 振り返りアンケート	
	自律した学修者として、何事にも挑戦する姿勢を養い、意欲的に励む生徒を育成する。	自己管理能力を育て、意欲的に学習に励む姿勢を育む(『夢に向かって』の活用(振り返りと改善計画の記入) 80%以上)。 学習に対して粘り強い挑戦を体現する(困難な学習課題に対しても粘り強く取り組めた生徒 80%以上)。 探究的な学びと問題解決能力を育成する(自身の進路目標と社会貢献の繋がりを意識する 80%)。	学校生活アンケート 授業アンケート 振り返りアンケート	
第3学年	将来の自身の姿を明確にして、その実現に向けて自立した学習、さらに学修を行う。	面談、「夢に向かって」を活用し、進路目標に応じて学習を自己調整する。(週ごとにまとめとして、学習記録の振り返り、調整を行っている生徒が80%以上) 学習習慣の更なる向上、進路実現に繋がる学力の担保。(平日の家庭学習時間が150分以上の生徒が70%以上) 自身の将来に向けて、AIやICTを活用しつつ、主体的に学びを進める生徒の育成。(日々の学習に加え、その中で課題を自ら設定し、主体的に学ぼうとする生徒が80%以上)	学校生活アンケート 授業アンケート 学校満足度アンケート	
	最高学年としての自覚と誇りを持って学校を牽引し、学校や社会に自らの考えを発信する態度を育成する。	これまで探究してきた課題について、その成果を論文として発表する。(研究成果を論文・発表としてまとめる生徒が95%以上) 学校行事や学校生活の中で、リーダーシップやフォロワーシップを発揮し、思いやりを持って他者と関わる生徒を育成する。(集団で協力し、成果を創出する生徒が90%以上) 校外活動などに積極的に参加し、広い視野を持って活動する生徒の育成。(地域活動への参加や、グローバルな活動を通して課題提案できる生徒が60%以上)	学校生活アンケート 行事の振り返りアンケート	